

# 秋田県の現状と方針

令和8年1月

秋田県 建設部 技術管理課

- ①秋田県のICT活用の目標値
- ②令和8年度の発注方針（案）
- ③アンケート調査
- ④取り組み内容

# ① 秋田県のICT活用の目標値

## ICT活用率の目標



### 発注者指定の推進と書類簡素化

指標に基づく発注者指定を推進し、受発注者双方の業務負担を軽減する。



### 簡易ICTマニュアルと発注者PC環境整備

初心者でも活用可能なマニュアルを整備し、円滑なデータ連携のため発注者側の環境を整える。



### ICT講習会・伴走支援によるスキル向上

実践的な講習会と現場での伴走支援を通じ、事業者の技術習得を強力にサポートする。



### 好事例の共有と受発注者への指標提示

成功事例を積極的に共有し、明確な指標を提示することで、全体のモチベーションと水準を向上させる。

## ② 令和8年度の発注方針(案)【一般土木:土土】

等級	型式	土工量	
		1,000m <sup>3</sup> 以上 5,000m <sup>3</sup> 未満	5,000m <sup>3</sup> 以上
A	発注者指定	簡易型 ICT	ICT
	受注者希望	—	—
B	発注者指定	簡易型 ICT	
	受注者希望	—	—
C	発注者指定		
	受注者希望	簡易型 ICT	

※施工箇所点在：個別の施工箇所の土量で判断

## ② 令和8年度の発注方針(案)【舗装】

等級	型式	舗装面積	
		1,000m <sup>2</sup> 以上 5,000m <sup>2</sup> 未満	5,000m <sup>2</sup> 以上
A	発注者指定	簡易型 ICT	ICT
	受注者希望	—	—
B	発注者指定	簡易型 ICT	
	受注者希望	—	—

※施工箇所点在：個別の施工箇所の面積で判断

## ② 秋田総合計画～秋田再考への第一歩(素案)

### 基本理念・目指す姿

秋田の再興に向け、この計画における「基本理念」と「目指す姿」を次のとおり定めます。

**基本理念** : **寛容・挑戦・安心**

**目指す姿** : **新時代に咲き誇る秋田**

～県民の夢を育み、県民の希望をかなえる～

「寛容」とは、年齢、性別、国籍、障害の有無など、多様な背景を持つ人々が、お互いの個性、自由な発想を尊重し、誰もが自分らしく活動できる、あたたかい包容力に満ちていることです。

「挑戦」とは、若者から高齢者まで、誰もが新しいことに臆することなく、失敗を恐れずに果敢に挑むことができ、創造的なエネルギーがあふれ、未来を自ら切り拓く活気があることです。

「安心」とは、日々の生活から将来にわたるまで、不安なく心穏やかに過ごすことができ、県民一人ひとりの暮らしと命が守られ、「この県に住み続けたい」「この県に暮らしていて良かった」と心から思えることです。

## ② 秋田総合計画～秋田再考への第一歩(素案)

### 政策7 防災・減災・県土強靱化

#### 政策を構成する施策

##### 施策1 気候変動等に対応した災害に強い地域社会を実現する

###### 【方向性】

- ① 気候変動に対応した流域治水対策の推進
- ② 大規模地震等に備えた戦略的なインフラ整備
- ③ 自助・共助の促進による地域の防災力の強化
- ④ 公助の推進による災害への対応力の強化
- ⑤ 防災におけるデジタル技術の活用

##### 施策2 社会経済活動を支えるインフラを強化する

###### 【方向性】

- ① 広域交流・物流に不可欠な高速道路等の整備
- ② 産業・観光を支える港湾施設の整備
- ③ 日常生活を支える身近なインフラの整備

##### 施策3 持続可能なインフラマネジメントを実現する

###### 【方向性】

- ① インフラの老朽化への対応
- ② 市町村との連携等による効率的なインフラの維持管理
- ③ 建設産業の担い手確保
- ④ 建設産業のデジタル化の推進

施策1, 2を実現するには



ICT活用等の推進が重要



皆さんの協力が必須

##### 施策3 持続可能なインフラマネジメントを実現する

持続可能なインフラの維持管理体制の構築に向け、防災・減災・県土強靱化を担う建設産業の人材確保・育成を図るとともに、デジタル技術の活用や市町村等との協働化など、あらゆる手法を組み合わせた効率的なインフラマネジメントの推進を目指します。



ICT 建設機械による施工状況



高校での出前説明会

#### 方向性④ 建設産業のデジタル化の推進

##### 【主な取組】

- (1) 調査・設計段階におけるデジタル技術の活用
- (2) 工事等における作業の効率性や安全性の向上等に向けたICT活用等の推進
- (3) 道路、河川、港湾における維持管理の効率化・高度化に向けたDXの推進

## ③ アンケート調査

### 調査結果の要点



#### 3次元データ作成の外注依存

回答企業の76%が3次元データ作成を「主に外注」と回答。3次元CADソフトの保有率（63%）との間にギャップが存在。



#### 省人化効果の実感

ICT導入による省人化効果は、回答者の半数以上が「1~3割減」と回答しており、具体的な効果が確認された。



#### コストと人材育成の課題

ICT導入における最大の課題として「費用増加（ソフト導入・人件費など）」と「技術者が育たない」という点が挙げられた。

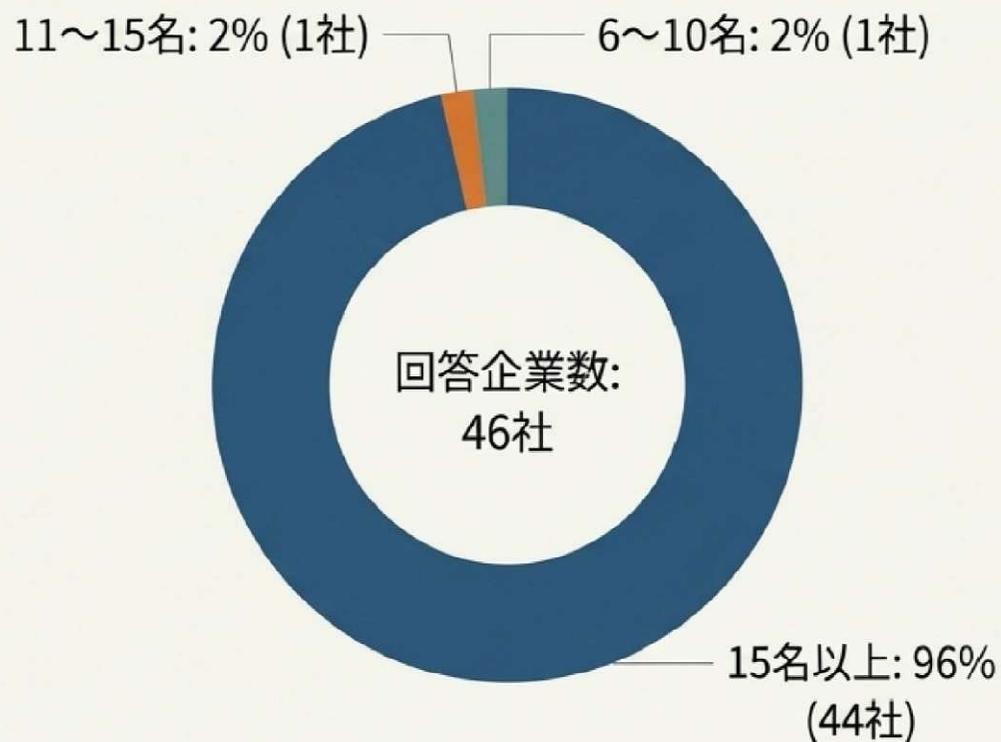


#### 支援への高い期待

県に対しては「補助金等の金銭的支援」や「講習会等の教育支援」を求める声が多数。

### ③ アンケート調査

## 回答企業の概要：従業員数15名以上の企業が9割以上



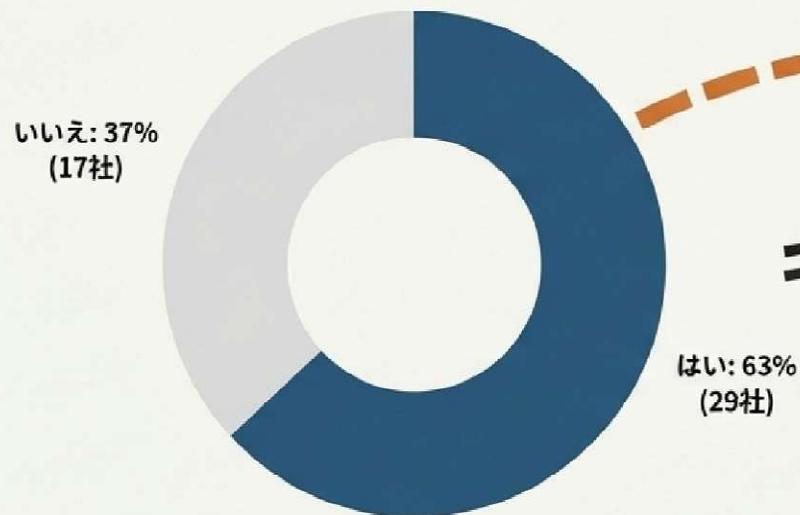
#### キーメッセージ

本調査は、県内でも比較的大規模で、ICT活用に積極的に取り組む企業層から回答が中心である。

### ③ アンケート調査

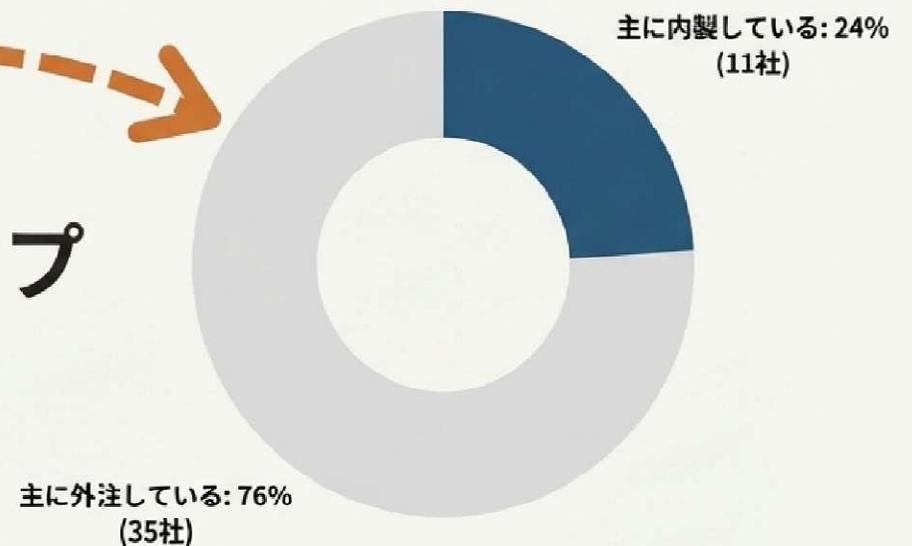
ソフトウェア保有と内製化のギャップ：  
3次元CADソフト保有は63%に対し、データ作成の内製化は24%

3次元CADソフトを所有していますか？



保有率: 63%

3次元データ作成は主に内製ですか、外注ですか？



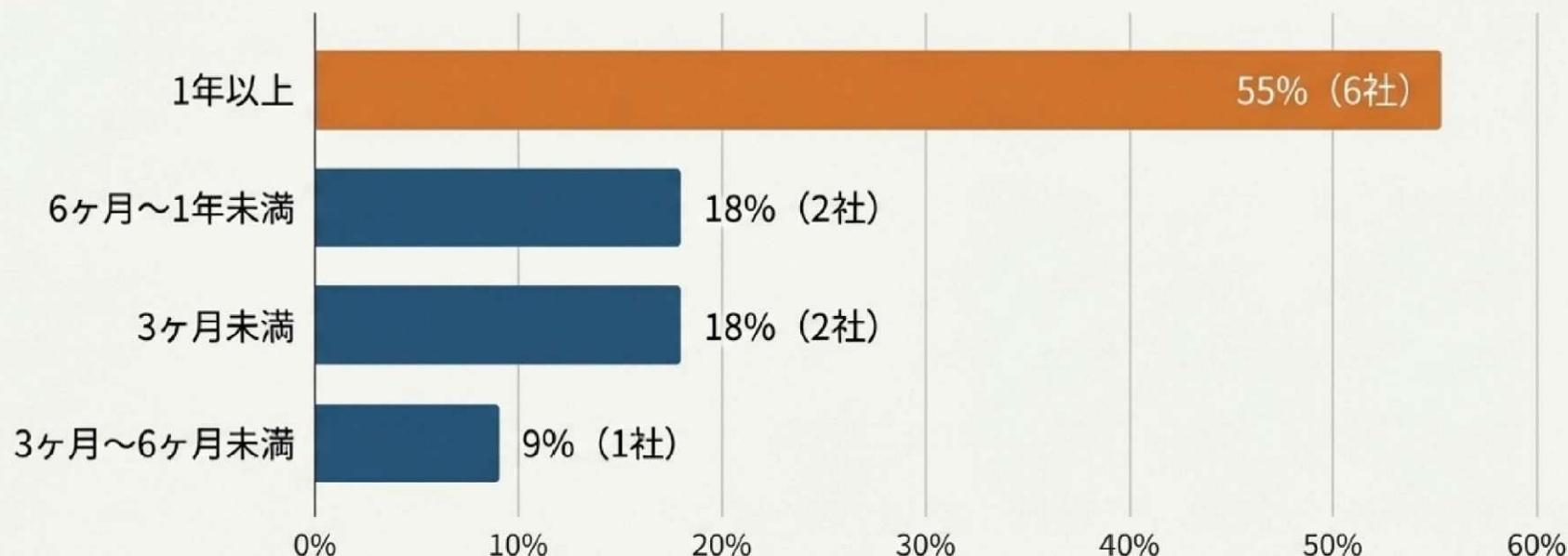
内製率: 24%

ギャップ

## ③アンケート調査

### 技術者育成の実態：内製化企業のうち、半数以上が育成に1年以上を要する

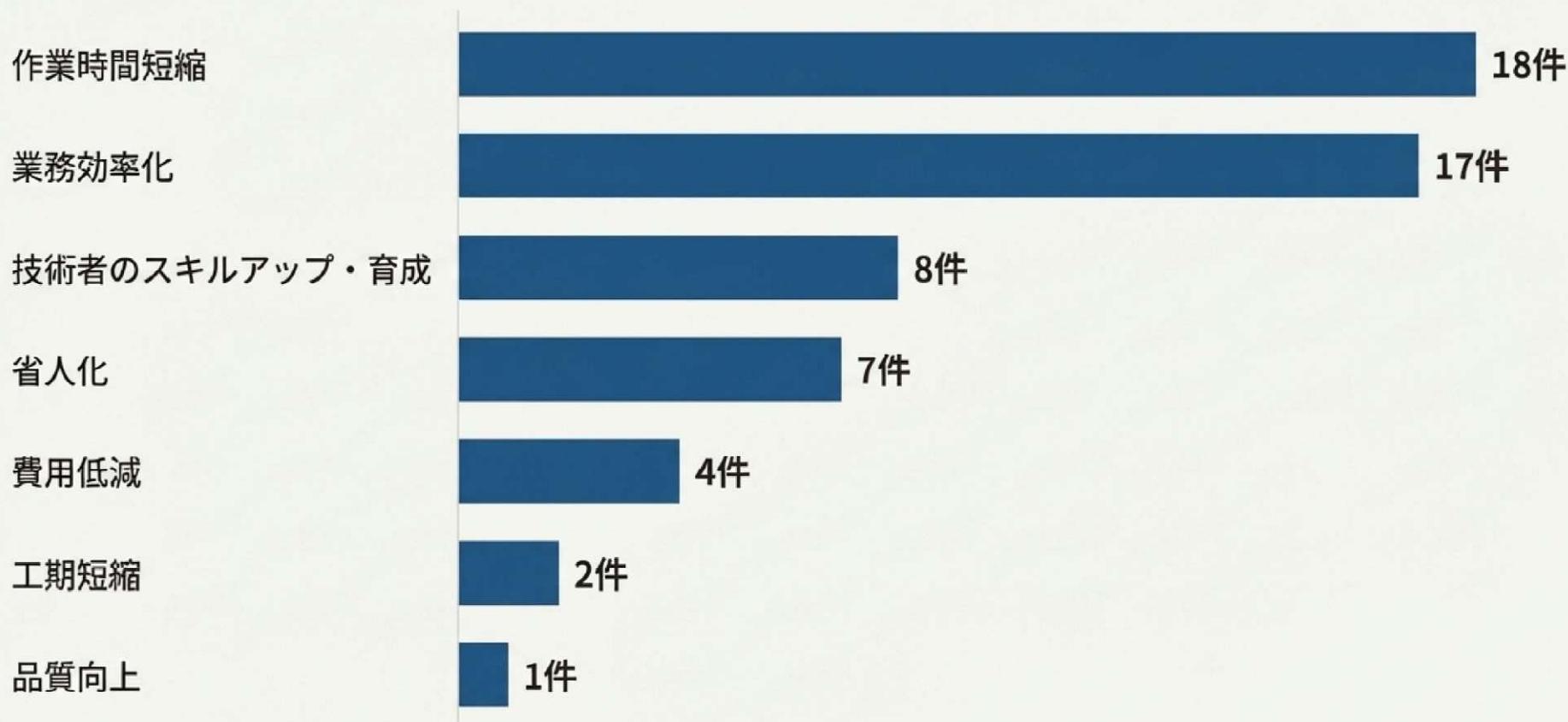
「3次元データ作成を内製している」と回答した企業 (n=11)



3次元データ作成の内製化には、**相応の育成期間が必要**であることがわかる。

### ③ アンケート調査

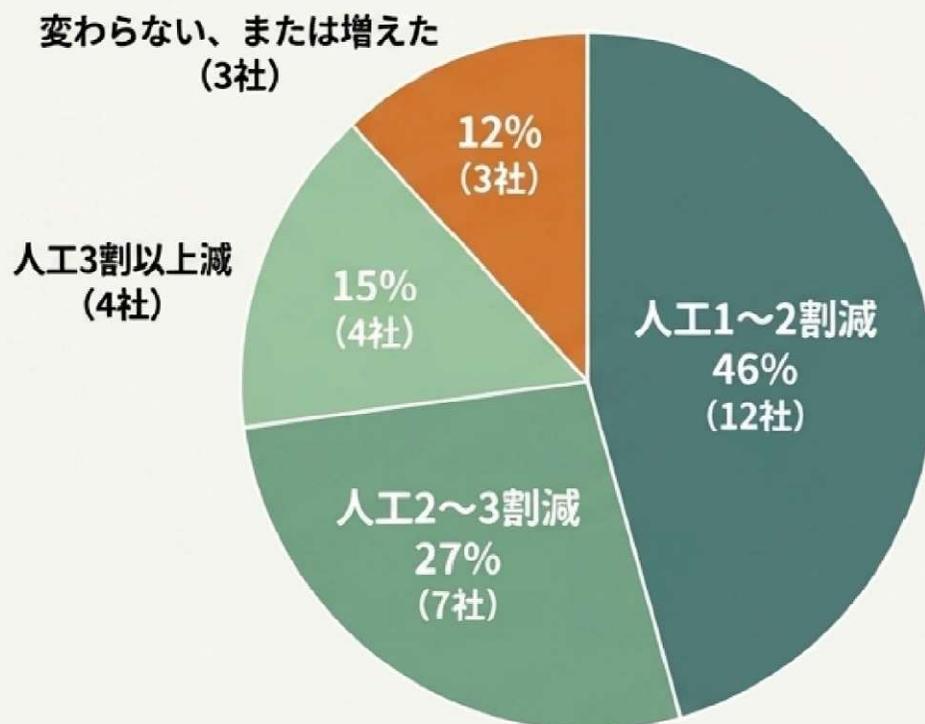
ICT導入の主な目的：最多は「作業時間短縮」、次いで「業務効率化」「省人化」  
(複数回答)



### ③ アンケート調査

## 省人化効果：半数以上が「1～3割減」と回答

省人化効果に関する回答 (n=26)

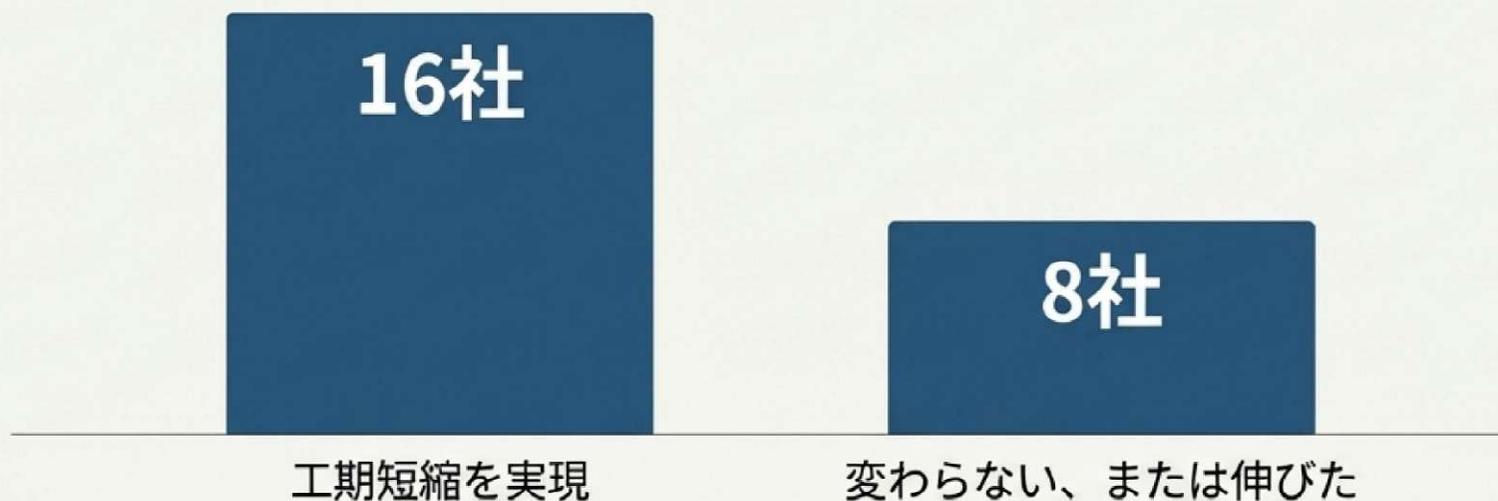


計 **73%** が  
1割以上の  
省人化を実感

### ③ アンケート調査

## 工期短縮効果：回答企業の3分の2が短縮を実感

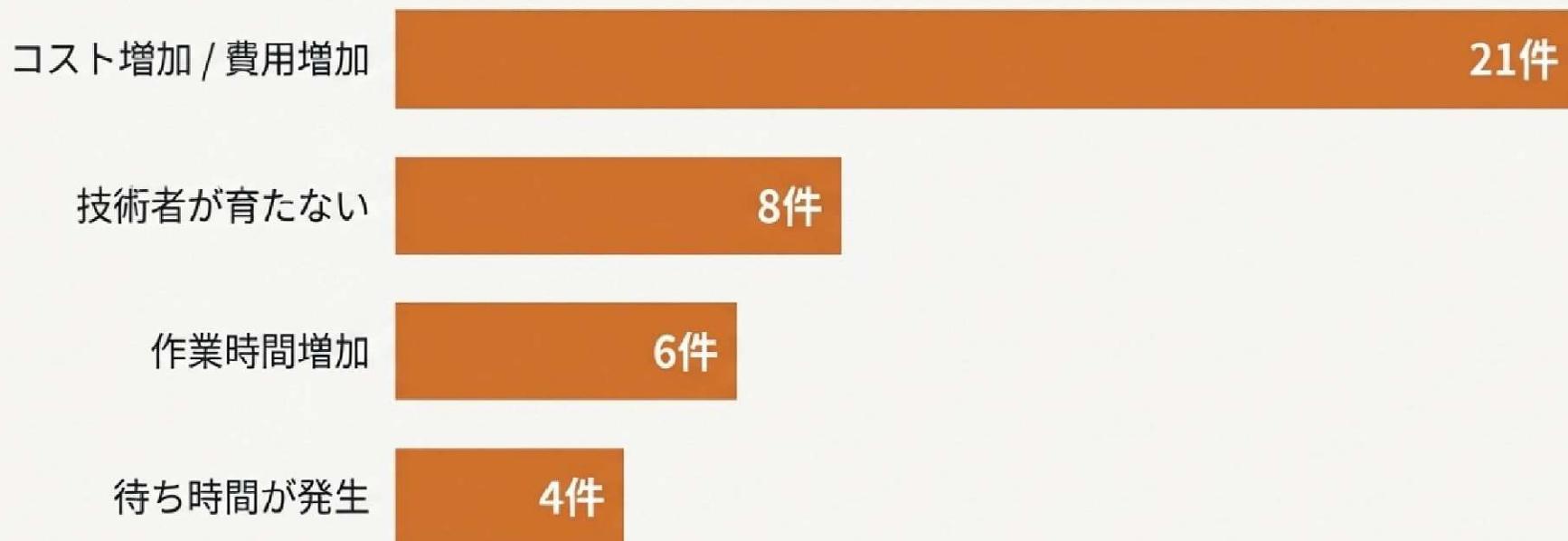
工期短縮効果に関する回答（n=24）



回答企業の3分の2が工期短縮を実現しており、  
ICT活用の具体的な効果が確認された。

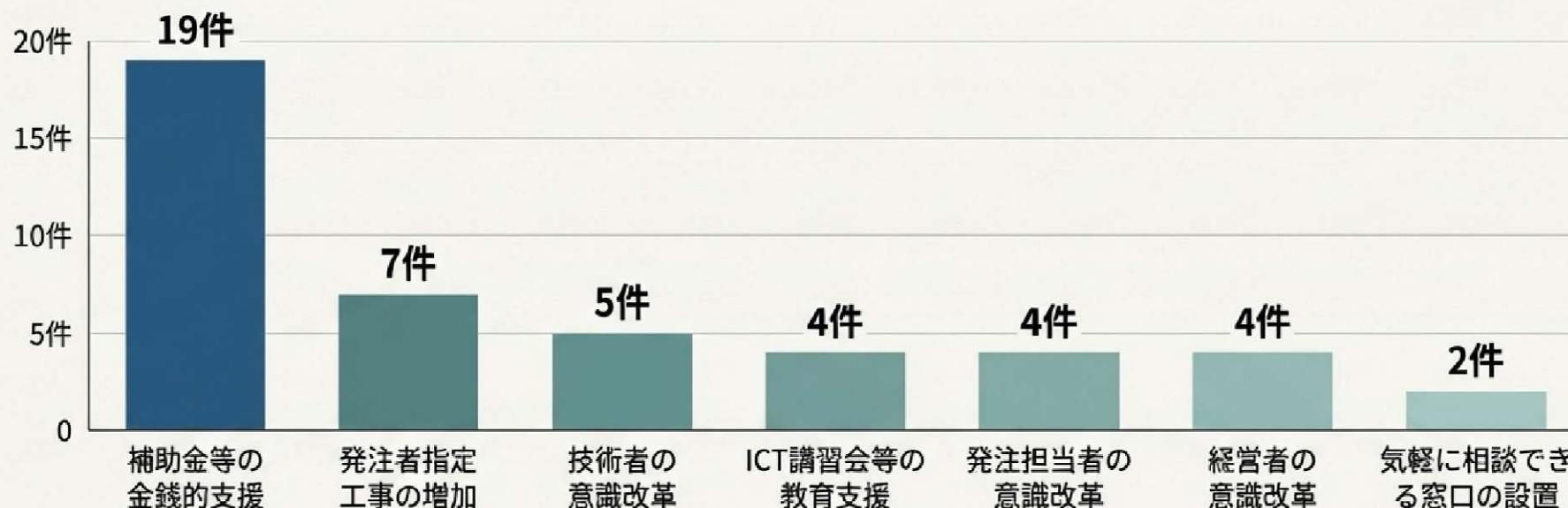
### ③ アンケート調査

直面する課題：最大の障壁は「コスト増加」、次いで「技術者の育成」  
(複数回答)



### ③ アンケート調査

## ICT活用推進のために県に求める支援： 「金銭的支援」が最多、次いで「教育支援」



企業は直接的な金銭的支援を最も求めているが、  
教育や発注形式の改善といった多角的な支援も望んでいる。

### ③ アンケート調査

## 本調査から見るICT活用の事実と今後の方向性

#### 現状



多くの企業が3次元CADソフトを保有している（63%）ものの、スキルとコストの壁からデータ作成の外注依存（76%）が続いている。

#### 効果



省人化効果（1～3割減が半数以上）は確実に現れているが、工期短縮効果は企業によってばらつきが見られる。

#### 課題



導入・運用コストと、内製化を担う技術者の育成が、ICT活用を阻む二大要因となっている。

#### 展望



企業は、導入コストを直接的に支援する「金銭的支援」と、人材育成や活用ノウハウを学ぶ「教育・情報提供」を強く求めている。

# ④ー(1) インフラDX推進事業費補助金

## 目的

建設業従事者の減少や高齢化が進む中、頻発化・激甚化する災害への即時対応や、老朽化するインフラ維持を将来も安定的に維持していくため、建設現場の生産性向上及び働き方改革のさらなる推進を図ることを目的として制定した。

## 概要

### 対象者

・秋田県内に主たる営業所を有し、秋田県の建設工事入札参加資格者名簿に登録されている者

### 対象事業

ICT活用工事の普及による建設現場の生産性向上や、現場事務作業のバックオフィス化による業務効率化等によって、インフラDXの推進に取り組むことを目的とする次のいずれかの事業次のいずれかに該当する費用を助成

- ① 3次元設計ソフトウェア導入に要する費用
- ② 現場における事務作業のバックオフィス化に要する費用  
(システム等導入、人材育成のための講習受講等に必要経費)

### 補助率等

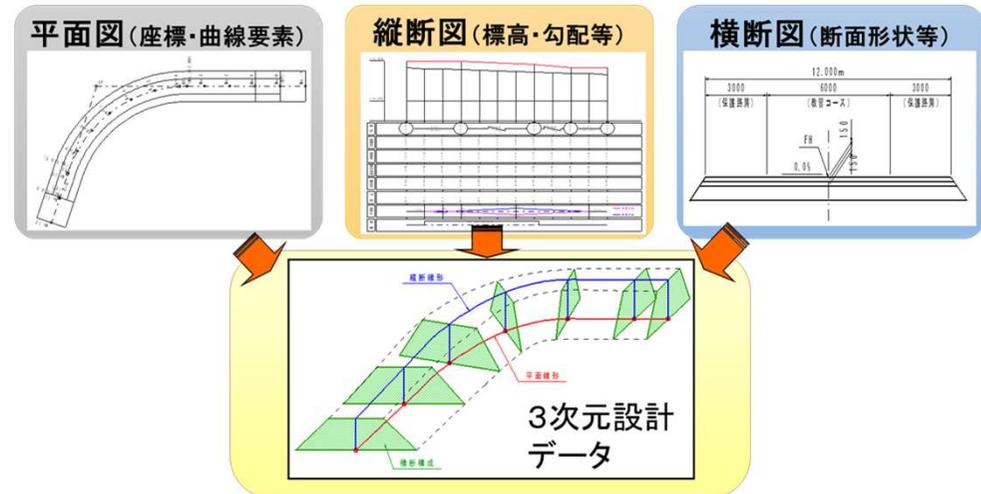
補助率	1 / 2 以内
補助上限額	50 万円
交付回数	1 建設業者につき 1 回

<募集期間> 令和7年4月1日(火) ~ 令和8年1月30日(金)

# ④ー(1) インフラDX推進事業費補助金

## 3次元ソフトウェア

平面図等を元にICT活用工事に使用する3次元設計データを作成するソフトウェアで、作成データはICT建機施工のほか、従来施工でも丁張設置や出来形管理に活用可能

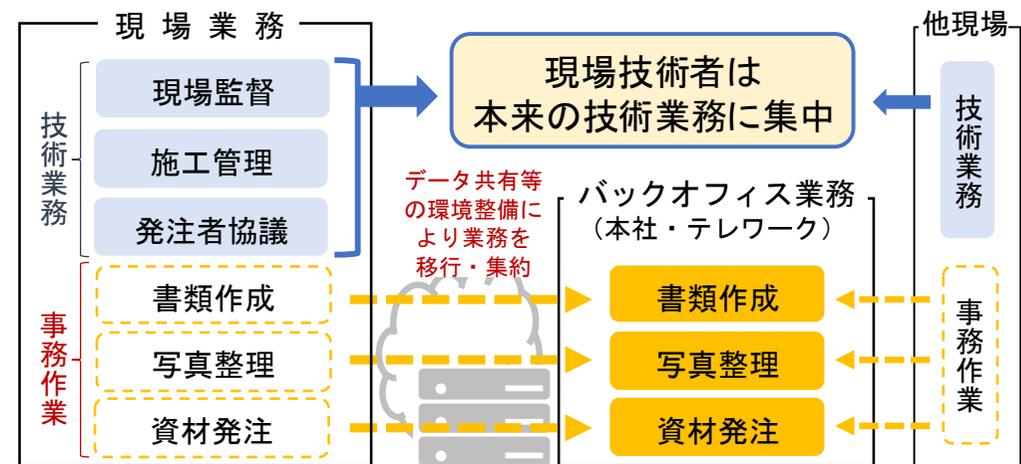


## 現場における事務作業のバックオフィス化

現場技術者が現場での作業終了後に実施している工事書類作成や写真整理等の事務作業について、クラウド等のデータ共有の環境整備により本社・テレワークの事務職員へ業務移行・集約することにより、業務効率化を推進

※業務集約に伴う作業効率化ツールの導入も「バックオフィス化」に含む

(施工管理、工事書類作成、経理・契約、コミュニケーションツール等)



# ④ー(2) ICT活用工事講習会

## ICT活用工事講習会について

- 秋田県におけるICTの全面的な活用（ICT活用工事）を普及促進させるため、受注者向けにICT活用工事講習会を開催。
- 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所が講師となり、3次元設計データ作成作業の座学と屋内での機器を用いた実習の内容。

### ICT活用工事講習会（案）

～ICT活用工事をもっと身近に！作る・活かす3次元データ入門～

ICT活用工事は、生産性向上や品質確保に資する技術として広く普及が進められていますが、「専門的で難しい」「大規模な現場でしか使えない」といった印象から、現場での導入に不安を感じている声も少なくありません。

本講習会では、ICT活用工事の中核となる「3次元設計データ」に焦点を当て、作成方法や活用方法の基本を解説します。実際にデータを見て触れる体験を通じて、「ICT活用は身近なもの」と感じていただける内容としています。

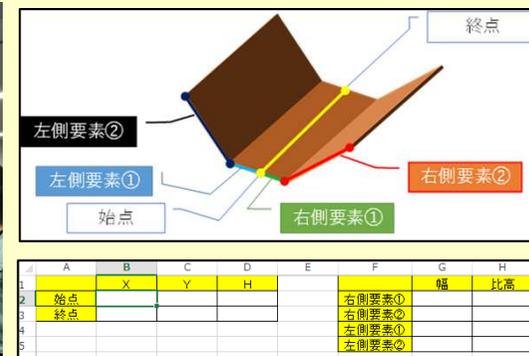
- 開催日時：令和7年7月22日（火）10:00～16:00 横手市（よこてシャイニーパレス）  
令和7年7月23日（水）10:00～16:00 北秋田市（北秋田市交流センター）  
令和7年7月24日（木）10:00～16:00 秋田市（生涯学習センター）
- 対象：ICT活用工事の実績が無い方・経験が少ない方、3次元設計データ作成を学びたい方
- 定員：各会場30名

時間	項目	備考
9:30-10:00	受付開始	
10:00-10:20 (20分)	秋田県におけるICT活用の取組み	【座学】
10:20-10:50 (30分)	ICT活用工事とは 3次元設計データ作成概要	【座学】
10:50-11:00	～休憩～	
11:00-12:00 (60分)	3次元設計データ作成	【実習】
12:00-13:00	～休憩～	
13:00-13:20 (20分)	省力化補助金について	【座学】
13:20-14:20 (60分)	3次元設計データ作成(続き)※	【実習】
14:20-14:30	～休憩～	
14:30-15:30 (60分)	① 点群処理と出来形帳票作成 ② 3次元データとTS（トータルステーション）を用いた丁張設置、出来形計測 ③ モバイル端末を用いた3次元出来形計測、AR体験	【実習】
15:30-15:50 (20分)	ICT活用工事の実施方針とポイント	【座学】
15:50-16:00	アンケート記入	

※：使用する3次元設計データ作成ソフトウェアは「SITECH 3D」（株式会社建設システム）となります。



【3次元データ作成の実習】



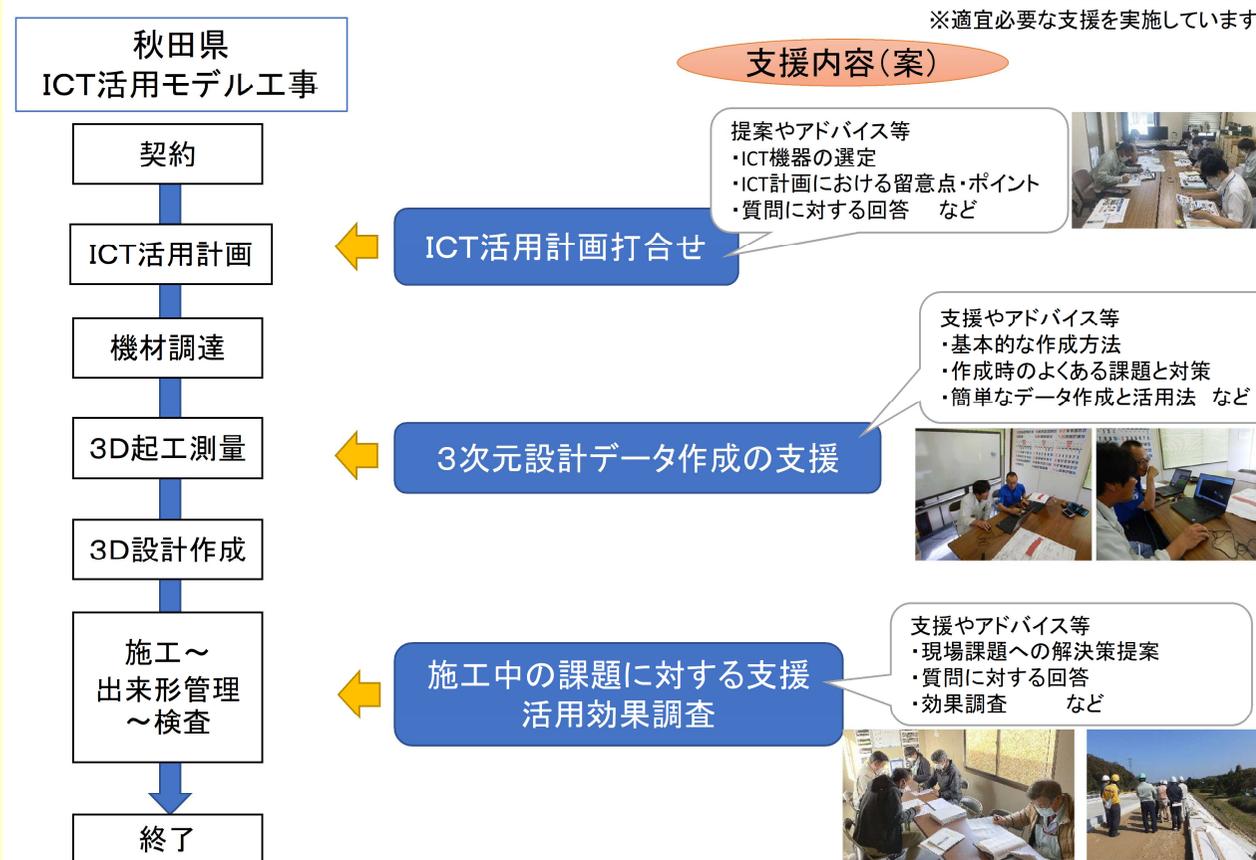
【測量機器等を使用した実習】

# ④— (3) ICT活用工事技術支援

## ICT活用工事技術支援について

- 秋田県におけるICTの全面的な活用（ICT活用工事）を普及促進させるため、県発注のICT活用工事を受注する企業に対し、ICT活用に関するプロセスにおいて技術支援等を行う。
- 技術支援は、当該年度に技術管理課が契約した、国土交通省が示すi-Constructionに関する基準類を熟知し、ICT活用工事に関する専門的な知識を有する企業が行う。  
（H30年度からR7年度は、日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所が支援）

### 現場支援の取組みについて(内容の一例)



- 年間：2現場程度を支援
- ⇒ 支援を希望する場合は、  
工事監督職員にご相談ください

# ④ー(4)ヘルプデスクの開設

## ヘルプデスクについて

- ヘルプデスクではICT活用モデル工事に関する疑問や相談を受け付け、技術管理課 または一般社団法人日本建設機械施工協会施工技術総合研究所が回答。
- ICTに関して些細な疑問でも解決できるようにサポート

### [秋田県電子入札システム]

<https://cals05.pref.akita.lg.jp/index.html> | [lg.jp/index.html](http://lg.jp/index.html)



ICT活用工事に関する問い合わせフォーム【秋田県建設部】

tesutoyong917@gmail.com [アカウントを切り替える](#)

• 必須の欄です

メールアドレス\*

メールアドレス

所属先(会社名・団体名・学校名など)をご記入ください\*

所属先入力

所属先住所\*

所属先入力

お名前\*

所属先入力

電話番号\*

所属先入力

E-mailアドレス\*

所属先入力

問い合わせの種類\*

3次元BIM構築

3次元設計データ作成

ICT連携による施工

3次元出来形管理

算出書類

積算関係

その他

問い合わせ内容\*

所属先入力

送信

フォームをクリア

# 令和8年度の発注方針(案)

等級	型式	土工量	
		1,000m <sup>3</sup> 以上 5,000m <sup>3</sup> 未満	5,000m <sup>3</sup> 以上
A	発注者指定	簡易型 ICT	ICT
B	発注者指定	簡易型 ICT	
C	受注者希望	簡易型 ICT	

等級	型式	舗装面積	
		1,000m <sup>2</sup> 以上 5,000m <sup>2</sup> 未満	5,000m <sup>2</sup> 以上
A	発注者指定	簡易型 ICT	ICT
B	発注者指定	簡易型 ICT	

**ご静聴**  
**ありがとうございました**